

THE 26TH NIPPON TAIKO JUNIOR COMPETITION

第26回

日本太鼓 ジュニアコンクール

第25回 日本太鼓ジュニアコンクール 優勝団体
橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎)

2024年3月24日(日)
大宮ソニックシティ

* 審査の妨げになりますので、会場での写真撮影・録画は一切ご遠慮ください。
* 客席内ではマナーモードに設定し、通話をご遠慮ください。

主催：  日本太鼓財団
NIPPON TAIKO FOUNDATION

主管：日本太鼓財団埼玉県支部

協力：(株)浅野太鼓楽器店 / (有)諏訪響太鼓店 / (株)宮本卯之助商店 / (株)丸五 / 篠笛立平

協賛： Supported by  THE NIPPON FOUNDATION

後援：総務省 / 文化庁 / 埼玉県 / 埼玉県教育委員会 / さいたま市 / さいたま市教育委員会 / NHKさいたま放送局 / テレ玉 / 埼玉新聞社

ご挨拶



公益財団法人 日本太鼓財団

理事長 大澤 和彦

このたびの「令和6年能登半島地震」によって、犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被害を受けられました皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

本日は、第26回日本太鼓ジュニアコンクールにご来場賜り、誠にありがとうございます。

公益財団法人 日本太鼓財団では、現在42都道府県に46支部を設立し、加盟団体数約650団体、会員総数約17,500人を数えております。日本の太鼓は、老若男女、また障害の有無に関わらず、国籍を問わずますます多くの方に愛好されております。

この「日本太鼓ジュニアコンクール」には、1999年に開催した第1回大会より自治大臣賞（第3回大会より総務大臣賞へ名称変更）が下付されており、その後も2003年の第5回大会より文部科学大臣賞、2009年の第11回大会より内閣総理大臣賞が下付されています。名誉ある今大会は、次世代を担うジュニアの健全育成と日本太鼓の後継者づくりを目的に、各予選を勝ち抜いた国内36都道府県から44団体並びにブラジル及び台湾から各1団体、合計46団体が競い合い、前回大会優勝団体の「橘太鼓『響座』ジュニア（宮崎）」が演奏し、日頃の練習の成果を発表するコンクールです。

出場する皆さんは、成績のみにこだわることなく、日本太鼓を通じ、礼節や他人への思いやりを学ぶとともに全国各地の仲間と交流を図り、友好を深め、いつまでもそれぞれの胸に残るコンクールとなることを期待いたします。

最後に、当財団の活動に多大なご支援をいただいております日本財団並びにボートレース関係者、そして本開催にあたりご支援ご協力いただきました総務省、文化庁、埼玉県、さいたま市をはじめとする関係各位、主管の日本太鼓財団埼玉県支部の皆さまに心からお礼を申し上げます。

ご祝辞



埼玉県知事

大野 元 裕

第26回日本太鼓ジュニアコンクールが、ここ埼玉の地で盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

全国各地からお集りの出場者並びに関係者の皆様、ようこそ埼玉県にお越しくださいました。県民を代表して心から歓迎いたします。

大澤和彦理事長をはじめ公益財団法人日本太鼓財団の皆様におかれましては、長年にわたり日本太鼓の普及・発展に多大な貢献をいただくとともに、日々の活動を通じて文化芸術の振興と青少年の健全育成に尽力いただき、深く敬意を表します。

日本太鼓は、地域の祭りや神社仏閣での儀式において演奏されるなど、日本人の生活に深く結びつき、親しまれてきた伝統文化です。見る者の心を震わせる躍動感と力強さを持つ日本太鼓の演奏は、国境を越えて海外でも高い人気となっています。

今回のコンクールでは、全国各地で選抜された代表チームに加え、海外からブラジル、台湾のチームも参加されるとお聞きしています。出場される皆様には、日頃の練習の成果を十分に発揮するとともに、息の合った^{ぼち}梓さばきと若さあふれる熱演で、御来場の皆様を大いに魅了していただきたいと思いをします。

そして、出場者並びに関係者の皆様には、幅広い世代へ日本太鼓の魅力を伝え、伝統を絶やさぬよう次の世代に受け継いでいただくとともに、本県の文化振興・発展に引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

また、本県には、秩父の美しい山並みや川越の蔵造りの町並み、新1万円札の顔となる本県出身の偉人・渋沢栄一翁ゆかりの地である深谷市などの多彩な見どころに加え、果物やスイーツ、お茶やお酒など美味しい特産品も豊富です。是非、この機会に埼玉の彩り豊かな自然や歴史、食文化など県の魅力を楽しんでいただきたいと思いをします。

結びに、本コンクールの御成功と今後ますますの御発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

ご祝辞



さいたま市長

清水 勇 人

「第26回日本太鼓ジュニアコンクール」が盛大に開催されますことをお祝い申し上げますとともに、国内及び海外から本市にお越しいただきました皆様を心から歓迎申し上げます。

公益財団法人日本太鼓財団の皆様方におかれましては、長きにわたり日本太鼓を通じて、文化芸術の振興に多大な御貢献をいただいておりますことに、心から敬意を表します。

このコンクールは、若い世代の皆様にとって、日本の伝統文化である日本太鼓の演奏技術を競うだけのものではなく、演奏を通じて心をつにし、仲間との交流を通して成長する貴重な機会であると思います。また、日本の伝統文化を守り、次世代に継承していくための重要な役割を担っていると感じています。

本日は、皆様が日頃の練習の成果を十分に発揮され、素晴らしい演奏を披露していただき、大会を大いに盛り上げていただくことを期待しております。

本市では、市民等が生き生きと心豊かに暮らせる「文化芸術都市さいたま」の創造に向けて様々な取組を進めており、本コンクールと同様、海外からも多くの皆様にお越しいただいております。皆様方におかれましても機会があれば足をお運びいただき、本市の文化芸術の発展のためにお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本コンクールが今後も末永く開催されますことを期待申し上げますとともに、本日御出演の皆様並びに御関係の皆様のみますの御活躍と御多幸を祈念申し上げます、御挨拶といたします。

ご挨拶



日本太鼓財団埼玉県支部

支部長 嶋田 浄

第26回日本太鼓ジュニアコンクールが埼玉県で14年ぶりに開催されるにあたり、日本太鼓財団埼玉県支部を代表し、心から歓迎申し上げます。本年は元旦より、石川県能登地方を震源とする大規模な地震が発生し、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災されました皆様に心からお見舞いを申し上げます。合わせて、被災者の救済と被災地の支援のためにご尽力されている方々に深く敬意を表します。

本大会には石川県からも参加されると聞いています。皆さんと共に被災地の1日も早い復興を願いながら、気持ちを込めた太鼓の演奏を出場者の皆さんが披露してくれることと思います。

さて、埼玉県は、わが国最初の通貨と言われる「和同開珎^{わどうかいほう}」が鑄造され、日本通貨発祥の地とされています。また埼玉には海はありませんが県内を流れる川の数は日本一多く、水辺に恵まれた県なのです。

他県からお越しの皆様、どうか埼玉の自然、歴史、食をお楽しみいただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にあたりご尽力を頂きました関係各位の皆様にご挨拶申し上げます。また、大会運営にご協力を頂いたスタッフの皆様にご挨拶申し上げますとともに、ご来場いただきました皆様方の益々のご活躍、ご健勝を祈念いたしまして、挨拶と致します。

審査委員紹介

(五十音順・敬称略)



浅野 昭 利

公益財団法人 日本太鼓財団理事
白山市伝統産業振興協会理事長
NPO 法人親子の広場あさがお理事長
白山市文化協会会長

一般財団法人 浅野太鼓文化研究所理事長
白山市太鼓文化協会会長
公益財団法人 鼓童文化財団評議員

- 1947年 石川県に生まれる。
1964年 石川県立小松実業高等学校機械科卒業。
2002年 東京新聞との共催により「東京国際和太鼓コンテスト」を開催。審査委員長を務める。(2013年まで)
2007年 高知県土佐和太鼓文化研究所「一響館」和太鼓コンクールで審査委員長を務める。(2018年まで)
2007年 白山市地域文化賞受賞。

現在は「近畿高等学校総合文化祭郷土芸能部門」や「富士山太鼓まつり大太鼓日本一決定戦」「神恩感謝日本太鼓祭大太鼓一人打ちコンクール」などの審査員や「白山国際太鼓エクスタジア」実行委員長などを務め、多くの和太鼓演奏家の育成や演奏機会の創出などに尽力している。



川村 真 悟

太鼓芸能集団 鼓童 プロデューサー
株式会社北前船 国内営業制作部 所属

- 1984年 大分県に生まれる。
2008年 (公財) 鼓童文化財団研修所に入所。2年間、太鼓を中心とした芸能や佐渡の文化等を学ぶ。
2014年 太鼓芸能集団 鼓童の公演ならびに創造活動全般の企画製作を行う、株式会社北前船のスタッフとなる。鼓童公演のツアーマネージャーや、坂東玉三郎氏との共演舞台等の経験を経て、現在は大小さまざまな舞台作品におけるプロデューサーとして、鼓童を支えている。

「太鼓芸能集団 鼓童」は、太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能に無限の可能性を見だし、現代への再創造を試みる集団。1981年ベルリン芸術祭でデビュー。新潟県・佐渡島に本拠を置き、ワン・アース・ツアー(太鼓とともに世界をめぐる、多様な文化や生き方が響き合う「ひとつの地球」を目指す)との活動理念のもと、これまで50以上の国と地域で7,000回を超える公演を行っている。



喜 多 郎

演奏家

- 1953年 愛知県に生まれる。
1980年 NHK制作のドキュメンタリー番組「シルクロード」の音楽を担当。
1993年 オリバー・ストーン監督作品映画「Heaven and Earth」の音楽監督を務め、同名のサウンドトラック・アルバムを発表。翌年ゴールデングローブ賞作曲賞受賞。
1999年 アルバム「Thinking of you」を製作。2001年グラミー賞ベスト・ニューエイジ・アルバム賞受賞。
2001年 米国同時多発テロをきっかけに、四国遍路八十八カ所の鐘を収録し、楽曲を制作するという「空海の旅」プロジェクトを開始。
2007年 チャン・イーモウ監督が手掛ける水上オペラ「Impressions Of The West Lake」で音楽を担当し、そのときに書き下ろした同名のオリジナルサウンドトラックが2010年グラミー賞にノミネート。また、すずきじゅんいち監督の日系史映画「Toyo's Camera」[442][MIS]へも楽曲提供し、同名のサウンドトラックをリリース。
2007年 開始した「Love & Peace World Tour」では、2010年までに10カ国18公演を実施。
2014年 Symphonic World Tour でLive 録音した「Kitaro Symphony Live in Istanbul」が16回目のグラミー賞にノミネート。
2017年 空海の旅 Volume5で17回目のグラミー賞にノミネート。



高野 右吉

公益財団法人 日本太鼓財団 副会長／秩父太鼓連盟会長
無形文化財秩父屋台囃子保存会秩父社中二代目家元
公益財団法人 日本太鼓財団1級公認指導員

- 1942年 埼玉県秩父市に生まれる。
- 1976年 全関東祭ばやしコンクール優勝高松宮杯獲得。
- 1983年 秩父屋台囃子保存会秩父社中家元に就任。
- 1991年 秩父太鼓連盟会長に就任。
- 1998年 財団法人 日本太鼓連盟(現・公益財団法人 日本太鼓財団、以下同)副技術委員長に就任。
- 2001年 秩父市教育委員会事務局長に就任。(2003年まで)
- 2003年 日本太鼓連盟埼玉県支部(現・日本太鼓財団埼玉県支部)名誉会長に就任。
- 2014年 第11回日本太鼓シニアコンクール名人位(文部科学大臣賞)受賞
- 2016年 公益財団法人 日本太鼓財団副会長に就任。
- 2019年 第16回日本太鼓シニアコンクール名人位(内閣総理大臣賞)受賞



古屋 邦夫

公益財団法人 日本太鼓財団 技術委員会委員長
中日本太鼓連合会会長
日本太鼓財団長野県支部支部長
公益財団法人 日本太鼓財団1級公認指導員

- 1948年 長野県に生まれる。
- 1967年 御諏訪太鼓に入門、宗家 故・小口大八氏に師事。
- 1970年 宗家 故・小口大八氏と共に岡谷太鼓の指導を始める。同年信州太鼓連盟(現在の長野県太鼓連盟)の発足に携わる。
- 1978年 長野県やまびこ国体 集団演技太鼓の部で県内チームを指導。以降、170チームを超える各地の団体を指導。海外でも数多くの公演を行い、多くの海外チームを指導。
- 1998年 長野冬季オリンピックにおける閉会式の太鼓演奏や2千人太鼓等の指導を行う。
- 2008年 長野県支部長、御諏訪太鼓保存会会長に就任。
- 2015年 第12回日本太鼓シニアコンクール名人位(文部科学大臣賞)受賞。



山部 泰嗣

太鼓奏者

- 1988年 岡山県倉敷市に生まれる。
- 2004年 「東京国際和太鼓コンテスト 大太鼓部門」にて史上最年少で最優秀賞を受賞。
- 2019年 アルバム「TAISHI」をリリース。
- 2021年 「中村壱太郎×尾上右近 ART歌舞伎 MUSIC COLLECTION」をリリース。
- 2022年 「和楽奏伝」を演出。
- 2023年 「パンタレイ」「めばえいずる」を演出。

太鼓界に留まることなく、五木ひろしや坂本冬美など演歌勢との共演、きゃりーぱみゅぱみゅらJ-POP、ロック界ではSPYAIRとのセッションまで広げ様々なエンターテインメントとの競演も精力的に行っている。特に、世界30ヶ国500万人の観客動員した「Fuerza Bruta」の日本公演「WA!」においては、約400回というロングラン公演で観客を魅了する。

また、太鼓を始めとする邦楽曲の作曲も手がけ、和太鼓の新たな可能性と邦楽の素晴らしさを作品に残すと共に舞台演出も行う。

審査要領

(審査方法)

第2条 審査方法は、次のとおりとする。

- (1) 審査委員により行う。
- (2) 審査委員は、原則として、5名以上10名以内とし審査委員長1名を選任する。
- (3) 審査委員は、当財団代表理事が委嘱する。
- (4) 審査委員長は、予め審査委員と会議を持ち、審査要領及び審査基準等の打合わせを行う。
- (5) 審査委員は、採点表 別表 に従い各項目を採点する。
- (6) 審査の対象は、課題曲並びに自由曲とする。

(審査基準)

第3条 審査基準は、次のとおりとする。

- (1) 課題曲と自由曲を含め5分以内とし、太鼓の打ち始めから打ち終わりまでとする。
なお、演奏時間を超過した場合は失格とする。この場合、担当者3名以上を置き計時する。
- (2) 台詞、歌、伴奏の楽器による演奏は演奏時間にはいるものとする。
- (3) 演奏は、伴奏を含めて生演奏とする。
- (4) 審査の採点は、100点満点制とする。
- (5) 審査項目は、次の5通りとする。
 - ①礼節・衣装
しっかりした挨拶、身のこなし、太鼓に向かう毅然とした態度か、また、太鼓演奏にふさわしく、衣装が子供らしいかをポイントにする。
 - ②構え・打法
腰を落とした安定ある姿勢、体全体で打ち込んでいるか、また、バチさばきと振り、正確な打法、太鼓本来の音が出ているかをポイントにする。
 - ③演奏技術
演奏技術が身についているか、その技術レベルが高いかをポイントにする。
 - ④音楽表現
曲想に合った演奏(強弱・速度等)とのバランス及び、笛、鉦等との調和がとれているかをポイントにする。
 - ⑤チームワーク
チーム全体が意気のある演奏をしているかをポイントにする。
- (6) 演奏に係る楽器等は次のとおりとする。
 - ①使用可能な楽器は和太鼓を主とした邦楽器とする
 - ②伴奏の楽器として、
 - ・チャップパ
 - ・鉦(チャンチキ)
 - ・鉄筒、竹筒
 - ・銅鑼
 - ・神楽鈴、おりん
 - ・篠笛(横笛)、尺八、ほら貝、口琴(ムックリ)
 - ・三味線、琴、大正琴等は使用可能とする
 - ③演奏に伴う伝統的な演出(例:幟等の設置)は可とする
 - ④上記以外の伴奏楽器は使用不可とする
 - ⑤音響機器、マイク、電子機器、音源使用は不可とする
 - ⑥演奏に係らない過剰な演出(例:紙吹雪、スモーク等)は不可とする
 - ⑦不可とされる項目を演奏に使用した場合は、失格とする

第26回日本太鼓ジュニアコンクール課題曲

気 鋭

作曲者／長谷川 義

♩ = 160

大太鼓

長胴太鼓

締太鼓

大

長

締

大

長

締

大

長

締

大

長

締



21

大 長 締

25

大 長 締

29 *mf* *f*

大 長 締

33

大 長 締

37

大 長 締

第26回 日本太鼓ジュニアコンクール・プログラム

■ 開会式

■ 演 奏

第1部 11:15～

- | | |
|--|------------------------------|
| 1. 舞鶴一座 秋月鼓童
Maiduru Ichi-za Akidukikodo from Miyazaki | 宮崎県…………… 13
(全九州ブロック代表) |
| 2. 江別見晴台鼓楽会豊太鼓
Ebetsu Miharashidai Koraku-kai Yutaka Taiko from Hokkaido | 北海道道央…………… 13 |
| 3. 越中いさみ太鼓保存会 春蘭
Etchu Isami Taiko Shunran from Toyama | 富山県…………… 14 |
| 4. 輪島・和太鼓 虎之介
Wajima Wadaiko Toranosuke from Ishikawa | 石川県…………… 14 |
| 5. 天城連峰太鼓
Amagi Renpo Taiko from Shizuoka | 静岡県…………… 15 |
| 6. 和太鼓 翠
Wadaiko “Sui” from Fukushima | 福島県…………… 15
(東北ブロック代表) |
| 7. 糸島二丈絆太鼓
Itoshima Nijyo Kizuna Taiko from Fukuoka | 福岡県…………… 16 |
| 8. 養父太鼓 鼓彩
Yabu Taiko “Koi” from Hyogo | 兵庫県…………… 16 |
| 9. ふじた傳三郎太鼓 童
Fujita Denzaburo Taiko “Warabe” from Okayama | 岡山県…………… 17 |
| 10. 信濃国松川響岳太鼓子供会
Shinanonokuni Matsukawa Kyogaku Taiko Junior Team from Nagano | 長野県…………… 17 |
| 11. 火の神乙女太鼓 爽
Hinokami Otome Taiko “So” from Kagoshima | 鹿児島県…………… 18 |
| 12. 岩見沢 茜太鼓
Iwamizawa Akane Taiko from Hokkaido | 北海道道西…………… 18
(北海道ブロック代表) |
| 13. 三代目源流
Third generation Genryu from Oita | 大分県…………… 19 |
| 14. 太鼓研修センター「響」
Taiko Training Center “Hibiki” from Miyazaki | 宮崎県…………… 19 |
| 15. 金光藤蔭高等学校和太鼓部“鼓響”
Konkotoin High School Taiko Club “Kokyo” from Osaka | 大阪府…………… 20 |
| 16. 岩手県立大船渡東高等学校太鼓部
Ofunato Higashi High School Taiko Club from Iwate | 岩手県…………… 20 |

第2部 13:35～

17. 太鼓道場風の会ジュニア「雷神組」 Taiko Dojo Kaze-no-kai Junior Team “Rizin-kumi” from Yamagata	山形県……………	21
18. 群馬県立安中総合学園高等学校 飛翔 Annaka General Academic High School “Hisho” from Gunma	群馬県……………	21
19. 岩舟武蔵太鼓ジュニア Iwafune Musashi Taiko Junior Team from Tochigi	栃木県……………	22
20. 麗澤瑞浪高等学校 太鼓部 Reitaku Mizunami High School Taiko Club from Gifu	岐阜県……………	22
21. 託東太鼓 Takuto Taiko from Kumamoto	熊本県……………	23
22. やまばと太鼓 Yamabato Taiko from Akita	秋田県……………	23
23. 駒王太鼓 嵐 Komao Taiko “Arashi” from Saitama	埼玉県……………	24
24. 富良野彌榮太鼓保存会 Furano Iyasaka Taiko from Hokkaido	北海道道北……………	24
25. 室蘭和太鼓會 北風 Muroran Wadaiko-kai “Kitakaze” from Hokkaido	北海道道南……………	25
26. 吉川太鼓 鼓流 Yoshikawa Taiko Koryu from Aichi	愛知県……………	25
27. 境原和太鼓クラブ Sakaihara Taiko Club from Wakayama	和歌山県……………	26
28. 権兵衛 Jr. 燎～ kagaribi ～ Gonbe Junior Team “Kagaribi” from Fukui	福井県……………	26
29. 會津田島太鼓「狐ノ刃」 Aizu Tajima Taiko “Konoha” from Fukushima	福島県……………	27
30. 赤平火太鼓保存会 Akabira Hi-Taiko from Hokkaido	北海道道西……………	27
31. 打鼓音ジュニア Dakoon Junior Team from Kanagawa	神奈川県……………	28
32. 津・高虎太鼓 Tsu Takatora Taiko from Mie	三重県……………	28

ご来場のお客様へ

- 演奏中の客席への出入りは、ご遠慮ください。
- 客席は、照明が暗くなっておりますので、移動の際はお気を付けてください。
- マスクの着用はお客様の判断におまかせしますが、咳エチケットにはご協力ください。
- 会場内での大声での会話はお控えください。
- 客席での写真撮影や動画撮影はできません。
- 客席でのご飲食はできません。
- 携帯電話は、マナーモード設定にするなどのご配慮をお願いします。
- 貴重品等は、ご自身での管理をお願いします。

第3部 15:30～

33. 東京都立松が谷高等学校和太鼓部 Matsugaya High school Taiko Club from Tokyo	東京都……………	29
34. 明德義塾中学・高等学校 太鼓衆魅鼓 Meitoku Gijuku Junior and Senior High School Taiko Club Taiko-shu Miko from Kochi	高知県……………	29
35. 新潟万代太鼓 鼓助 Niigata Bandai Taiko Kosuke from Niigata	新潟県……………	30
36. 和太鼓集団響屋ジュニア Otoya Junior Team from Kagawa	香川県……………	30
37. 掛合太鼓ジュニア Kakeya Taiko Junior Team from Shimane	島根県……………	31
38. おおむら太鼓連くじら太鼓 Omura Taiko-ren Kujira Taiko from Nagasaki	長崎県……………	31
39. 大和太鼓保存会 鼓天童子 Yamato Taiko “Kotendoji” from Saga	佐賀県……………	32
40. 和太鼓 凧 Wadaiko “Nagi” from Chiba	千葉県……………	32
41. 川越ふじ太鼓 Kawagoe Fuji Taiko from Saitama	埼玉県……………	33
42. 京都光華中学高等学校 和太鼓部 Kyoto Koka Junior and Senior High School Taiko Club from Kyoto	京都府……………	33
43. 広島山陽学園山陽高等学校和太鼓部山陽太鼓“弾” Hiroshima SANYO High School Taiko Club Sanyo Taiko “Dan” from Hiroshima	広島県……………	34
44. 蝦夷太鼓ジュニア Ezo Taiko Junior Team from Hokkaido	北海道道東……………	34
45. オザスコ轟太鼓 Osasco Todoroki Taiko from Brazil	ブラジル……………	35
46. 柏齡太鼓團 Boling Taiko-dan from Taiwan	台湾……………	35

特別演奏

橋太鼓「響座」ジュニア Tachibana Taiko “Hibikiza” Junior Team from Miyazaki	宮崎県……………	36
--	----------	----

■ 表彰式

■ 閉会式

*コンクールの出場順番は、公正を期すため2024年1月19日(金)に開催された第76回運営委員会並びに第81回技術委員会において抽選を行い決定したものです。

*コンクールの優勝団体は、2025年3月23日(日)大分県大分市開催予定の次回大会にて特別演奏を行うことになっておりますので次回の本大会には出場できません。

出場団体紹介

1 まい づる いち ぎ あき づき こ どう 舞鶴一座秋月鼓童

宮崎県



自由曲 こう し ご つき 格子越しの月

代表者: 石田 卓也
馬渡 志桜 / 宇高 和月
山下 真央 / 岩野 泰士
小宮路 琉音 / 藤原 朝妃
樋高 絢音 / 高木 雪音
馬渡 花穂 / 井澤 心愛
清水 翔琉 / 川口 慶喜

地元の火の神様を祭るお祭りに参加していた有志で、より本格的に太鼓をやりたいとの声が集まり、2001年に設立されました。宮崎県の県央部に位置する人口約2万人の高鍋町より参加されています。

本日演奏する「格子越しの月」は、「格子越しに『光って』見えているのは月かもしれない。それはそれぞれの角度や距離で見え方が全く違って見える」というテーマをもとに作曲されました。

月に見立てた1人のセット打ちを中心に楽曲が展開します。他のパートがノリを大切にしながらセットに、グループ感のある展開になります。セットを支える他のパートにも注目していただけますとより一層お楽しみいただけます。

2 え べつ み はらし だい こ らく かい ゆたか だい こ 江別見晴台鼓楽会豊太鼓

北海道道央



自由曲

ふれあい

代表者: 谷口 美幸
藤巻 花音 / 及川 真歩
田中 美咲 / 岡本 陽向
平原 優

原生林と石狩平野に抱かれた北海道江別市の中心部に在りながら、札幌市を一望できる丘の上に見晴台があります。見晴台自治会の育成部によって、1989年に「青少年の育成と、伝統文化の継承」を目的として結成されました。

本日演奏する自由曲は、結成当時の江別市のキャッチフレーズ「ふれあいの街江別」にちなんで作曲されました。

「ヨォーッ」の掛け声から始まり、それぞれの太鼓の掛け合いとユニゾンを繰り返して曲が展開していきます。最後は「ヨォーッ」の声で曲を締めます。お互いに声を掛け合い、共に駆けて行くような独特な打ち方をする曲です。団体結成当時から大切に守ってきた曲をご覧ください。

3 ^{えっちゆう}越中いさみ ^{たいこほぞんかい}太鼓保存会 ^{しゅんらん}春蘭 富山県



自由曲

らん

代表者: 河合 朋宣
 森田 善心 / 織田倫太郎
 高江 悠生 / 亀田 結菜
 織田寿々音 / 高木 聡汰
 田口 颯真 / 西村 笑
 柴田 紗良 / 西永 光汰
 河合茉穂呂 / 高木 遥愛
 笠原 路馬

1952年に富山県砺波市に鎮座する鎮守桑野神社への奉納太鼓として、村の有志により活動開始。1954年に富山県初となる太鼓保存会が結成されました。

「らん」は、長年女人禁制ではあったが、時代背景により子供の部に女子が加入したことをきっかけに女性の優美さやしなやかさを表現する曲として作曲されました。聞き手により「蘭」・「乱」・「run」・「爛」など、人それぞれの捉え方があってよいとの思いが曲名に込められています。

雪解けとともにつぼみをふくらませ、ゆったりと育つ姿を表しており、スピード感のある曲ですが、「春蘭」の花言葉の「飾らない心」「気品」も表現します。北陸特有の打ち方「三つ打ち」を時代感覚とともに成長させつつ、伝統を受け継ぐ姿勢を特に注目してください。

4 ^{わじま}輪島・和太鼓 ^{わだいに}虎之介 石川県



自由曲

^{のとのくにきりこまつり}能登國切籠祭

代表者: 橋爪 朱宗
 前田 優穂 / 坂田 紘都
 川端光太朗 / 加川 壮馬
 川端遼太朗 / 大形未那美
 加川 桜馬

石川県輪島市を拠点とし、伝統の祭り太鼓を基本に、和太鼓の「新しい風を」との思いで、2000年に結成されました。1月1日の地震ののち、チームメンバーは自宅、他の市の避難先などに別れ、毎日の練習も全くできなくなりましたが、スマホを用いて、また提供されたスタジオに集まって、一丸となって稽古を重ねてきました。

今回演奏する自由曲「能登國切籠祭」は、地元の伝統あるお祭りで演奏するお囃子が由来となっております。和太鼓本来の音色を引き出し、打ち込みたいとの思いを込めて作曲されました。曲の流れは、お祭りで巨大な燈籠である「切籠」が厳かに運航する際にお神輿の御明かり(先導)として打つ道中囃子を演奏し、能登独特の打ち込みから止まり太鼓を乱れ打ちします。例年夏に行われる輪島大祭の盛り上がり太鼓で表現されます。

5

あまぎ れんぼう だいこ
天城連峰太鼓

静岡県



自由曲

なぶら

代表者：堀江 富男
 國府方北斗／小森 颯
 高杉 星羅／室野 那奈
 堀江野乃花／木村 南巴
 國府方憲斗／梅田明日香
 横田 優暉

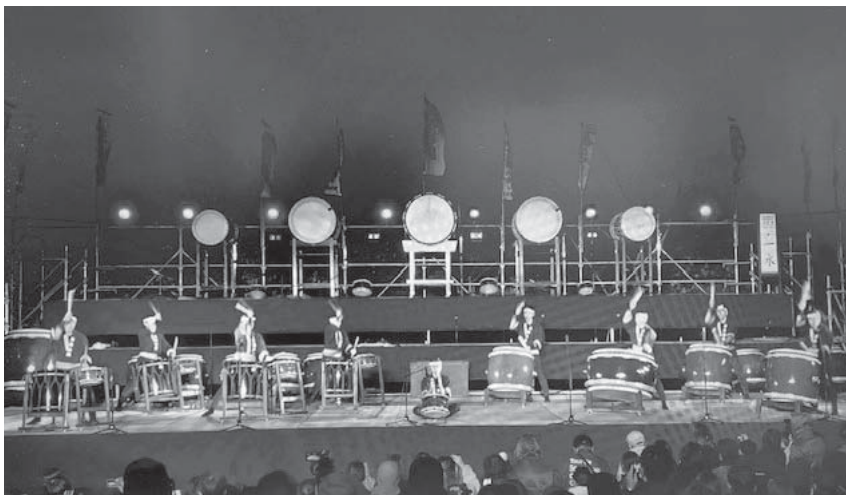
天城連山に囲まれた自然豊かな温泉町、天城湯ヶ島町(現・伊豆市)開催の地域振興イベント「森の感謝祭」にて地元有志により1989年に結成されました。

曲名は、魚の群れが海面を持ち上げ、海鳥たちが上空を旋回する様子「なぶら」に由来します。縮太鼓はざわつく海、長胴太鼓と桶太鼓は魚・海鳥、大太鼓は日本一深い駿河湾と追いかける大型魚を力強く表現しています。

初めに海中で小魚が集まり、その後、海面がざわつき、海鳥たちがその上空を飛び交います。やがて大小多数の魚が水しぶきをあげ、海面を持ち上げます。逃げ惑う小魚、追いかける大型魚と海鳥。その様相を太鼓で表します。

6 わ だい こ すい
和太鼓 翠

福島県



自由曲

いっ すい
一 水

代表者：渡邊 達雄
 鮎澤 京奈／山口くるみ
 武田 颯悟／本間 結人
 吉田 光里／相楽 孝裕
 瀧口 美桜／松本 咲希
 宗像穂乃香

「平成元年」に設立された「奥州須賀川松明太鼓保存会」の後継者育成事業として発足した「松明太鼓小若組」から、2010年に中学生・高校生で結成された「松明太鼓小若組嵐」。その中の高校生のみで構成されたチームです。

自由曲は、同じ水でもそれぞれの流れがあり、見え方も違うという意味の仏教の四字熟語「一水四見」に由来しており、須賀川市を交わり流れる阿武隈川と釈迦堂川という大きな2つの河の流れを音で表しています。全員の呼吸を合わせた第一打から始まる序盤は降った雨が大地に浸透する様子を表現します。

中盤に来る各パートの掛け合いと、縮太鼓ソロから終盤へのスピード感と爆発力は、別々の流れが再び1つとなり更に力強く流れる様子を表します。

7 糸島二丈絆太鼓

いとしま に じょうきずな だい こ

福岡県



自由曲

がらしゃ 我羅紗

代表者: 田中 茂雄

鏡 壮真 / 上林山 光喜
 埜渡 心乃 / 南阪 光里
 勝木 柊哉 / 有田 梨花
 三丸 みのり / 森園 心美
 櫻井 千紘 / 埜渡 悠乃
 西 絆花 / 勝木 結葉
 濱崎 勇輝 / 埜渡 隆志

糸島市は福岡県福岡市と佐賀県唐津市の間にある自然豊かな地域です。糸島二丈絆太鼓はこの糸島地域を中心に活動を行っている子ども太鼓集団です。2003年に(社)糸島青年会議所青少年健全育成事業「絆太鼓」として始まりました。

自由曲「我羅紗」は、3歳から太鼓を習い始め高校3年生で最後のジュニアコンクールを迎える団員と、戦国時代の動乱を駆け抜けた細川ガラシャを重ねて創られた楽曲です。コロナ禍に翻弄され、時代が大きく変化し続ける現代でも自分達の意思をしっかりと持ち、1つの事をつらぬく心はとても大切であるとの考えのもと、青春の全てをぶつけ、ジュニアコンクールへの想いを込めて演奏します。

大太鼓と締太鼓の音の重なり、音や音の粒へのこだわりをご覧ください。

8 養父太鼓 鼓彩

やぶ だい こ こい

兵庫県



自由曲

らい うん ひかり 雷雲の光

代表者: 奥藤 啓

北垣 しきぶ / 奥藤 宗之助
 奥藤 ちひろ / 鎌田 魁人
 森元 天 / 北垣 慶悟
 森田 雅月 / 池田 悠太
 松永 航 / 太田 紬依
 松永 千尋

2009年に公民館事業で始まった和太鼓体験教室をきっかけとして、「和太鼓をもっと打ちたい」、「楽しみたい」という子ども達が集まりチームが結成されました。

自由曲は、兵庫県北部但馬地域の自然が奏でる音、普段から子ども達が親しんでいる景色を音楽として表現します。ぽつりぽつりと落ちる雨音、忍び寄る雨をまとった空気、そして雷鳴。大地を濡らし打ち付ける雨、轟く雷鳴、そして風に踊る雨粒。嵐の仕舞いに光芒一闪、雨上がりの雲の切れ間から射す光の道を表します。止まない雨はなく、暗い世の中の空気を吹き飛ばし、前向きに歩きだせるようお願いが込められています。

曲の進行に従って、旋律・主役が移り変わる構成となっており、打ち分け、掛け合い、体での表現にご注目ください。

9

でん ざぶ ろう だい こ わらべ
ふじた傳三郎太鼓 童

岡山県



自由曲

しゅん らい
春 雷

代表者：河原 寛

藤丸智輝世／道廣 歩

黒住さくら／盛野 琥鉄

橋本 丈瑠／景山 晃司

牧野航太郎／盛野 瑚夏

岡山市藤田地区は岡山県南部に位置し、藤田傳三郎翁率いる「藤田組」による児島湾干拓により海底から創造されました。その先人達の偉業や苦難・努力そして魂を後世の人々へ継承するため、1995年に発足されました。

今回演奏する自由曲「春雷」は、春の全ての植物が芽吹く頃に、まるで万物に生命を注ぎ込むかのごとく響く雷鳴をモチーフにした曲です。

雷鳴をイメージした大太鼓の音から始まり、全ての植物が芽吹くところに向かっていくための勢いの良い締太鼓の音、そして芽吹いた喜びを表す迫力のある斜め打ち長胴太鼓へと繋がっていきます。3種の太鼓の掛け合い、他に類を見ない斜め打ちをお楽しみください。

10

しな のの くに まつ かわ きょう がく たい こ こども かい
信濃国松川響岳太鼓子供会

長野県



自由曲

け しん
化 心

代表者：仲川 達也

三澤 郁斗／萩原 亜美

山田 絃音／西條なずな

伊藤 千晴／小林ゆめり

内山 朱音／岡里 淳生

兒島 琉斗／林 咲和

伊藤 朝陽

「信濃国松川響岳太鼓子供会」は、1986年、雄大な北アルプス、そして安曇野のシンボルである有明山の麓「松川村」で、太鼓の音が「山の峰々まで響け」との願いを込めて発足され「信濃国松川響岳太鼓」の子供チームとして誕生しました。

自由曲「化心」は、「信濃国松川響岳太鼓」の代表曲で、人の心の中にある様々な気持ちを般若の面で顔を隠し、太鼓の音色と動きで表現しています。

前奏は締太鼓と長胴太鼓、大太鼓の演奏から始まり、般若を含む全員演奏に変わり、笛演奏を挟んで出場者全員で演奏します。音の変化とともに人の心も変化していきます。中盤以降、般若の竹筒と笛のソロから曲の最後まで盛り上がりにご注目ください。

11 ^ひ ^{かみ} ^{おと} ^め ^{だい} ^こ ^{そう} 火の神乙女太鼓 爽

鹿児島県



自由曲

は
晴レバレ

代表者: 平田 寿一

萩原 李羽 / 桑原 瑛太

竹内 遥花 / 蒲地 彩乃

立石 そら / 大塚 壮

鹿児島県立枕崎高等学校の生徒9人からの熱望により「枕崎火の神太鼓保存会」のジュニア団体として、2000年7月に設立されました。

自由曲は、地元枕崎の自然や先人が残したものなどから学び、新しい表現を考えながら明るく楽しい未来を創っていきたい。そういった音を鳴らしながら晴れ晴れとした気持ちで、一音一音を大切に幅広く表現されています。

静かな空間を破るように勢い良くスタートし、序盤はシンプルかつ勢いのある打ち込み、中盤は静かなリズムで曲を落ち着かせ、大太鼓ソロから太鼓セットソロで盛り上げます。終盤はこれまで我慢していた音を開放し、一気に曲を盛り上げます。音量だけでなく、柔らかい音や硬い音など太鼓から出せるすべての音を使って曲を奏でるところをご覧ください。

12 ^{いわ} ^み ^{ざわ} ^{あかね} ^{だい} ^こ 岩見沢 茜太鼓

北海道道西



自由曲

らい
雷 空

代表者: 佐々木明美

関 歩花 / 須賀川みなみ

能代川大知 / 田辺さくら

山口 悠仁

2001年に町内会の育成部の活動として設立されました。コロナ禍によりメンバーが減少しましたが、ジュニアコンクールという目標に向かって練習に励み、初めて全国大会に出場することができました。

自由曲は、人数減少から今までの持ち曲では大人数に負けない演奏をすることが難しいと考え、コンクールのために作曲されました。雷のように強く激しく、空のように小さくまとまらない大きく身体を使った演奏をしてほしいとの思いを込め「雷空」と名付けられました。

前半は空をイメージして大きな動きで身体を大きく使い、後半にかけて雷のように激しく、力強く、迫力のある響きを表現している曲になっています。少人数だからこそ太鼓を複数台使い、勢いや迫力の出る工夫にご注目ください。

13

さん だい め げん りゅう

三代目源流

大分県



自由曲

ぜろ

令 (ZERO)

代表者：城内 三美

阿南 晴大／迫 芽吹

長谷川 凌／鈴江 蓮央

長谷川 凜／立川 暖真

永松 寛祐／菅 航史郎

立川 悠陽

大分県由布市無形文化財「豊の国ゆふいん源流太鼓」の音を後世に継承したいという思いで、2014年「ゆふいん源流少年隊」が結成されました。今回は代表チームである「三代目源流」が10歳から17歳までのメンバーで出場されます。

今回演奏する自由曲「令 (ZERO)」は、様々なジャンルの太鼓が音楽としてグローバルに展開されている現在、日本で最も重要なものの1つである和太鼓を原点から、見直していこうという意味が込められています。

大太鼓、長胴太鼓、締太鼓の3パート編成で、組曲として各パートが打ち込みアンサンブルを奏でます。日本の伝統、名刀のごとき打ち込みの美学をご覧ください。

14

たい こ けん しゅう

太鼓研修センター「響」

ひびき

宮崎県



自由曲

かな

た

奏 打

代表者：今村 秀樹

濱田琉貴亜／吉村 絆

大隈 瑠貴／永山 勇太

大西 凜音／小田 弘翔

大隈 美心／森田 大翔

山並 千朗／川畑 侑誠

太鼓研修センター「響」は、和太鼓の音に魅了され和太鼓を習い始めた研修生達がチーム練習に参加し、その中から選抜されたメンバーで2005年に結成されたチームです。本日は11歳から16歳までのメンバー構成で出場されています。

今回演奏する自由曲「奏打」は、「橘太鼓『響座』」座長である岩切響一氏が作曲しました。曲名は1つ1つの太鼓の音色を奏でながら、打ち込むという意味が込められています。

和太鼓の伝統的なリズムとは異なり、小節の中の1小節と4小節に重点を置いた曲で、太鼓による様々な表現で展開していきます。曲の展開に合わせて、演奏者も太鼓も同じように展開していく場面にご注目ください。

15

こんこうとういんこうとうがっこうわだいきょうぶ こきょう
金光藤蔭高等学校和太鼓部 “鼓響”

大阪府



自由曲

なにわ
浪花

代表者: 中山 幸二
 杉本 康浩 / 小林 司
 中川 和音 / 石井 武蔵
 金田 璃空 / 伊藤 大史
 笹部 柊太 / 藤原 渚人

浪花女子高等学校から金光藤蔭高等学校と校名変更した際、「強化指定クラブ」として和太鼓部は2000年に創設されました。

自由曲は、伝統的な祭りの風景と現代的で都会的な風景が入り混じる「浪花」の街に生きる人々の、周りの人間とともに明るく前向きに生きていこうとする気質を伝統的な踊りも交えて表現した曲です。

「天神祭りのお囃子に合わせて龍が昇天する様子を模した龍踊り」、「浪花の現代的な生活」、「夏祭りの獅子舞巡行を先導する傘踊り」、「周りとともに楽しく生きようとする姿」を演奏の中で展開しています。この曲は大阪の街の様子と、大阪人の気質を表しており、音と動きと表情のすべてを使って表現されますので、ご注目ください。

16

いわてけんりつおおふなとひがしこうとうがっこうたいこぶ
岩手県立大船渡東高等学校太鼓部

岩手県



自由曲

ながれ
潮流

代表者: 千葉 久
 大久保美優 / 大畑穂乃佳
 佐々木優花 / 井原 眞生
 佐々木優輝 / 杉山 耀理
 平山 恒成 / 大久保優愛
 村上 雅弥 / 平子 千寛
 小澤 鉄 / 今野 羽月
 平山 美咲

1978年、旧大船渡農業高校時代に大船渡市で開催された県学校農業クラブ連盟大会で太鼓を披露するため、長安寺太鼓保存会に指導を仰ぎ、「長安寺太鼓」が発足されました。翌年には名称を「大農太鼓」に変更、学校統合後は「大船渡東高等学校太鼓部」として活動されています。

自由曲曲名は、校歌「世界を還る潮流を見据え励行の年月に夢は応える」が由来です。部の歴史と伝統を作り上げてきた先輩方の意志を継ぎ、自分たちの手で発展させたいという思いを込め、2022年に作曲されました。

「序」から「破」中盤のメインフレーズまでは捉えやすい曲調になっており、「破」終盤は静かな場面から大太鼓ソロに入り、「急」は掛け合いやユニゾンの中でチームの特色を出し、最大の盛り上がりを見せます。

17

たい こ どうじょうかぜ かい らい じん くみ
太鼓道場風の会ジュニア「雷神組」 山形県



自由曲

じん らい
迅 雷

代表者：伊藤 裕介
 佐藤 颯／伊藤ちさと
 小川 紗枝／小野 愛海
 彦坂心々夏／佐藤 那香
 鈴木 十和／佐藤 渚
 佐藤 泰温／稲泉 色羽
 雅楽川 桜依／進藤 朋
 吉泉 俊徳／田村 亜虹
 稲泉 湊大

「太鼓道場風の会」の発足20年目をきっかけに、道場の理念である「基本は心」のもと、日本太鼓の伝統継承、地域の活性化、青少年の健全育成を目的とし、2012年に設立されました。本日は12歳から17歳までのメンバー構成で出場されています。

今回演奏する自由曲「迅雷」は、チームの活動拠点である山形県酒田市特有の季節の変わり目に鳴り響く迅雷をモチーフにしています。

しとしと雨が降り始めたと思いきや、天候が急変し、激しく打ちつける暴風雨とともに鳴り響く迅雷を長胴太鼓、締太鼓、平釣太鼓の演奏で表し、その後も雷鳴を伴いながら降り続く風雨を曲の流れで表現されています。

18

ぐん ま けんりつ あん なか そう ぎょう がく えん こう とう がっ こう ひ しょう
群馬県立安中総合学園高等学校 飛翔 群馬県



自由曲

ひ しょう
飛 翔

代表者：中村 浩修
 島 伊織／齋藤 光汰
 五 陽菜／多田 美優
 有 伊織／渡邊 璃玖
 原 大晴／浦野 迅
 大 陽貴／矢口 遼太

2006年に安中高等学校と安中実業高等学校が統合した際、前身の安中高等学校の和太鼓部を引き継ぎ設立以来18年目になります。「和の精神を大切に、人を思いやる気持ち社会に貢献できる人間形成」をモットーに活動しています。

自由曲「飛翔」は山内上杉氏、甲斐武田氏の家臣であった安中重繁がその配下として、後の上杉謙信である長尾景虎の上野侵攻に際して上杉方に参陣し、武田氏と抗争した様子を表しています。

合戦をイメージした曲で、大太鼓が戦う前の緊迫感から突撃までを表現します。その後、締太鼓で騎馬が敵をかくはんし、後退させる様子を描写しています。部隊はゆっくり敵陣を警戒しながら進み最後には敵を急襲し撃破します。

19 岩舟武蔵太鼓ジュニア

栃木県



自由曲

き りゅう
氣 流

代表者: 上 敬夫
田村 心椛 / 田村 虹海
上 新 / 上 大蔵
上 颯太 / 茂呂清十郎
高場美咲希 / 清水 晴心
兵藤 凱咲

岩舟武蔵太鼓主宰 上 敬夫 氏が栃木県南部地区にも和太鼓グループを創設したいとの意思があり、1978年に設立されました。

今回演奏する自由曲「氣流」は、青少年らしさをテーマに作曲されました。関東栃木の大地の“氣”の流れ、ジュニアメンバーの“氣”持ちを1つにすることを太鼓で表現しています。

曲の展開は、締太鼓の甲高い音から始まり、長胴太鼓のセット打ち、大太鼓ソロ・締太鼓ソロと続き、長胴太鼓のセット打ちから各パートがユニゾンして演奏しエンディングを迎えます。大太鼓ソロの躍動感のある打ち方、締太鼓ソロの掛け合い、長胴太鼓パートの“氣”の流れを表した振りなど各パートの持ち味を活かした演奏をご覧ください。

20 麗澤瑞浪高等学校 太鼓部

岐阜県



自由曲

き きょうさん か
桔梗讃歌

代表者: 栗本 明德
杉 悠香 / 多田 雪音
安元 彩乃 / 渡邊 葵
丹治 幸子 / 松岡 雄大
大谷 志門 / 木原 美玲
早川 和沙 / 片田 愛珠
林 千陽 / 伊藤 英輝

麗澤瑞浪高等学校は美濃源氏土岐氏の発祥の地、岐阜県瑞浪市にある学校です。太鼓部は1999年に創部され、学校行事や地域イベントなど、毎年約15回の演奏活動が行われています。ジュニアコンクールは5年振り2回目の出場です。

自由曲は、土岐氏が活躍した鎌倉時代末「正中の変」を題材としたもので、幕府を倒そうとする後醍醐天皇に協力し、新しい時代を作り上げようという土岐氏の心意気を表現します。

序盤は新時代到来を求める人々の思いが時代の流れを作る様子を、中盤は宴を行いながら倒幕の計画を立てた史実を表します。後半は新たな時代を切り拓こうとするエネルギーを演奏します。限られた時間で時代の展開を描写するために、変拍子を多く用いて時代のうねりを表現します。

21

たくとうだいこ
託東太鼓

熊本県



熊本市東区の託麻東地区に伝わる雨乞い大太鼓の伝統文化継承、地域活性化を目的に2004年に結成されました。今回演奏する自由曲は、熊本県阿蘇市にある草千里ヶ浜の美しい風景をテーマにしたものです。そこに広がる美しい空と雄大な大地が表現されています。

曲の展開は、前半はミドルテンポの中で複雑なアンサンブルを大きな振りで打ち込み、中盤にはテンポアップし、各パートのソロへ、そして後半には息の合った力強いユニゾンへと繋がります。注目ポイントは、大太鼓や組太鼓、締太鼓、各パートが絡み合ったアンサンブルやそれぞれの特徴を活かしたソロです。特に締太鼓の特徴的なリズムやソロは見どころの1つです。

自由曲

そら した だい ち
この空の下の大地

代表者：米満ひろみ

宮本 輝一／坂口 碧
堤 隆乃介／西田 龍克
久野倫太郎／橋本 莉空
北森 大輝／堤 恒志郎
橋本 昊征

22

たいこ
やまばと太鼓

秋田県



自由曲

ふるさとまつり

代表者：大友 剛

大友 心響／池田 芽生
高橋 渚斗／鈴木まのん
高野 真帆／伊藤 優月
高橋 奏音／池田 吏玖
朝倉 妃捺／大友 晟響
高野 夏瑠／高橋 朔士

「この子らに心のふるさとを」の思いから、子ども達の健全育成の願いを込め1986年に発足されました。

自由曲「ふるさとまつり」は、秋田市の国重要無形民俗文化財である「竿燈まつり」に由来します。子ども達も参加する大切なふるさとの祭りで、そのテイストが曲に反映されています。

曲の展開は、雪国秋田の冬を乗り越え夏へと向かっていく様子や真夏の夜空に輝く稲穂の様を、一打一打大切にしながら、良い音を打てるよう心掛けて表現し、祭りの主役である「竿燈」を行います。「竿燈まつり」の竿燈囃子を取り入れておりますが、独特な構え方と打ち方で演奏をしますので、ご注目ください。

23

こま おう だい こ あらし
駒王太鼓 嵐

埼玉県



自由曲

まい しん
邁 進

代表者：嶋田 浄
 鈴木 優／戸田 樹
 戸田 陽／金子 歩楽
 小林 紗椰／戸田 杏
 掘野 絃／阿部 凌士
 池亀 優咲／飯野 寧々

武蔵駒王太鼓が指導するジュニアチームで、1994年に創設されました。駒王太鼓の名称は嵐山町で生まれた源義仲公(幼名：駒王丸)に由来します。

今回演奏する自由曲「邁進」は、常に前向きに進んでいく思いを太鼓で表現し、観客の皆様のためにひたすらに打ち込み、太鼓の魅力を感じてほしいと願い作曲されました。

チャッパの音とかけ声で祭りの始まりを表し、強弱の音を大事にして様々な物語を表現していきます。一步ずつ前に進んでいき、自分たちの前向きな思いを太鼓に託し、仲間と心をつなげて太鼓を打ち込みます。注目ポイントは太鼓の音にチャッパの音を重ね、打ち手の思いを前に進めてくれるところです。

24

ふ ら の いや さ か だい こ ほ ぞん かい
富良野彌榮太鼓保存会

北海道道北



自由曲

ひ こう
飛 煌

代表者：新保ひかり
 岡本 和真／正木 愛兎
 磯江 結太／金井 勇人
 小河 樹生／佐藤 元気
 小野 颯仁

1973年、富良野市開基70周年に、時の市長の故・高松竹次氏、作曲家の故・八洲秀章氏の両氏のご尽力により設立されました。

自由曲は、作曲当時のコンクールメンバーのリーダーを中心に作られました。十勝岳や芦別岳等に囲まれた富良野盆地にチームの拠点があり、風光明媚な景色の中、心豊かに育った子ども達が和太鼓を通し、飛び煌情熱を表現します。

曲の展開は、競い合うような各パートの掛け合いがあり、少しずつ合わさりユニゾンした後、静かなフレーズへと続きます。しかし、困難を乗り越えた子どもがいきいきと風を切るように全力でラストまで太鼓を打ち鳴らします。曲中に左右上下にバチを振る「風を切るような」キレのある動きや、大太鼓のしなやかかつパワーある打ち込みにご注目ください。

25

むろらんわだいこかい きたかぜ
室蘭和太鼓會 北風

北海道道南



自由曲

ほっかいながう
北海流れ打ち

代表者：櫛引 秀明

櫛引 杏月／阿部 愛桜

櫛引 大和／後藤 志真

1965年に登別温泉にて橋本光司氏により創始された「登別地獄太鼓」を原点とし、1995年に結成されました。小学生から高校生までの地獄太鼓のジュニアチームです。

「北海流れ打ち」は、1964年に大場一刀氏が北陸の太鼓を基本に創始された北海道の新しい太鼓芸能「北海太鼓」の代表曲です。

日本三大河川のひとつ石狩川の流れをテーマとしたもので、初め静かに流れている川が、だんだん激しく、やがて怒濤逆巻く日本海へ流れ込む様子を太鼓のリズムにて現します。長胴太鼓1台と後ろに大桶胴太鼓を置く形は、北陸の太鼓を学んだ「大場一刀と北海太鼓」の演奏スタイルで、演奏者が交替しながら演奏する個人技が見どころです。

26

よしかわたいこ くりゅう
吉川太鼓 鼓流

愛知県



自由曲

かざん
火山

代表者：白井 雄二

廣田孝太郎／山田 聖翔

福井 海斗／廣田 織絵

鈴木 旭／福井 璃空

大場 唯愛／藤井 洸太

小川 烈維／近藤獅子斗

2006年、豊橋市吉川町の子ども会から「子ども達の健全育成と地域とのかかわり」を掲げ、当初10名で創立されました。親子、兄弟姉妹など小学1年から大人の48名で構成し「タテ・ヨコ・ナナメ」の関係でコミュニケーションを図り、青少年健全育成を実践されています。

自由曲は、人間が地球上で生きる中で自然という美しさ・厳しさを和太鼓のもつ打撃音で表現をした楽曲構成になっています。

作曲当初はとにかく打ち込む曲でしたが、ジュニアコンクール向けに再編されています。中盤の静かなシーンでは、溶岩がフツフツとなる情景を表現し、後半に向けて徐々に音圧や熱量を上げ、最後は噴火する様子を表現しています。噴火寸前の緊迫感や溶岩が流れ込むような音の表現、後半にある大太鼓ソロにご注目ください。

27

さかい はら わ だい こ
境原和太鼓クラブ

和歌山県



自由曲

しち ふく じん たから ぶね
七福神の宝船

代表者: 堀田 博子

土橋 由愛 / 山口 遙花
吉田 涼 / 高橋 湊音
福井 湊人 / 藤井 彩羽
森本 琉月 / 小谷 優果
土橋 莉子 / 長岡 心海

境原和太鼓クラブは、高野山麓の和歌山県橋本市にある境原小学校の卒業生や在校生をはじめ地域の方々で伝統芸能に触れ、地域の活性化に繋がるコミュニティとして2014年に発足されました。

自由曲「七福神の宝船」は、それぞれの個性・役割を持ちながらも同じ1つの舞台に立つ子ども達を宝船に乗った七福神に見立て、客席に福音を届ける気持ちで演奏してほしいという思いを込め作曲されています。

水平線の向こうから宝船に乗った七福神たちがにぎやかにやってくる様子を弾むリズムと囃子声で表現しており、締太鼓が波の音、長胴太鼓が小躍りする神々の役割を果たしています。飛んだり跳ねたり元よく演奏するところが見どころです。

28

ごん べ え じゅにあ かがりび
権兵衛 Jr. 燎～ kagaribi ～

福井県



自由曲

しん げき どう
真激動

代表者: 服部 武志

若泉 凜音 / 鈴木 天子
川崎 桃加 / 若泉 沙耶
鈴木 心子 / 竹内 真鈴
中荒江圭市 / 中荒江羽未

花筐子ども太鼓を卒団した中高生5名で2018年に結成されました。

自由曲は、激動の世を戦い生きる若き武士たちが乱世を戦い抜いていく生き様を現した曲です。

篠笛の二重奏から始まり、序盤は「滾り」の域に達するまで、大太鼓、締太鼓、長胴太鼓の順番で徐々に盛り上げます。長胴太鼓の1回目のフレーズが終わると大太鼓ソロに続き、2回目の長胴太鼓フレーズの後に締組み太鼓ソロに入ります。徐々に激しさを増していき、多彩なアンサンブルで表現しています。各パートの振り付けは「刀」を想起させるもので、特に終盤の福井の伝統的な打ち方である「つばめ返し」が見せ場となります。

29

あ い づ た じ ま た い こ こ は
會津田島太鼓「狐ノ刃」

福島県



自由曲

とき つ かげ
時津風

代表者：渡部久留美

大竹 楓歌／阿久津桜花

弓田 優来／橋本 瑞玲

小椋 遥翔／小林芽衣花

菊地 昊璃／渡部 詩奈

大竹 円／齊藤 力雄

湯田 華風／弓田 媛葵

福島県南会津町で2007年に結成されました。地元の伝承を元にした創作太鼓を作曲・演奏し、南会津町観光応援隊として和太鼓の普及、地域活性、観光PR等を積極的に行い、南会津の音を全国各地、海外にも発信されています。

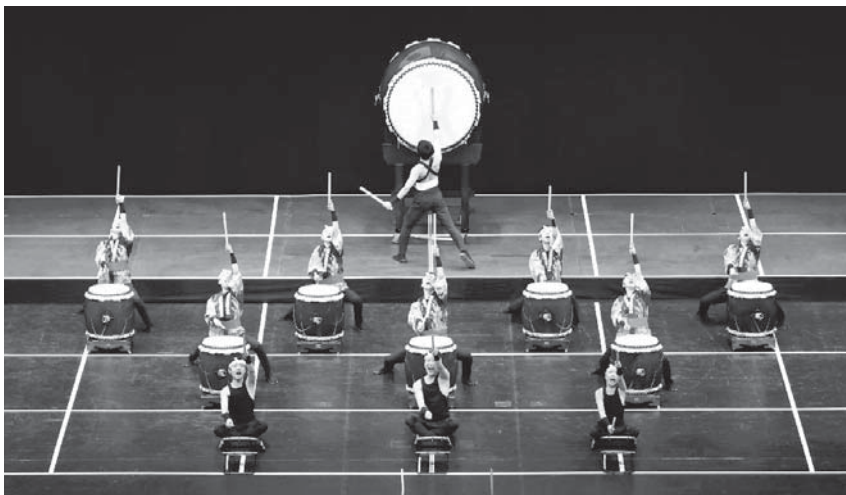
自由曲「時津風」は、丁度よい時に吹く風という意味があり、子ども達にとって、日本の未来において追い風となるようお願いを込めて作曲されています。古来より南会津の文化と命を受け継いできた先人たちの願いが風となり、今を生きる子ども達はその風を太鼓の響きで伝えます。

単純な導入から各パートの持ち味を生かしたリズムが入り、急なテンポの変化、重なる音が後半に向けて力を増し、打ち手の個性が力強く響きます。

30

あ か び ら ひ だ い こ ほ ぞ ん か い
赤平火太鼓保存会

北海道道西



自由曲

れつ か
烈 火

代表者：浮田 直利

佐藤 優花／加藤 楓華

関 雅也／大谷 敏綺

近藤 亮／池本 璃那

伊藤 蘭／田村 駿太

伊藤 蓮介

北海道赤平市の祭りをきっかけとして1977年に設立されました。当初は大人のみでしたが、赤平青年会議所が「太鼓を通じて子ども達の健全育成を計る」という旗印をかかげて子どもを募集し、現在も継続して活動されています。

今回演奏する自由曲「烈火」は、元気に太鼓を演奏している子ども達を見て、烈火の如く、炎が舞う様に演奏してほしいという思いで作曲されました。

勢い良く太鼓を打つ様やスピード感のあるバチ捌きをもって、烈火の様に激しく燃え盛る様を体現します。大太鼓、長胴太鼓、縮太鼓で構成されており、各パートのソロや掛け合い、そしてそれぞれのアンサンブルにご注目ください。

31 だ こ おん 打鼓音ジュニア

神奈川県



自由曲

さい てん 祭典

代表者: 渡邊 晃伸

野崎 姫愛 / 坂本 悠菜

近藤 若奈 / 関根 理央

小泉 敬大 / 近藤 千夏

坂本陽向汰 / 吉濱 吏琥

相原 陵汰 / 渡部 知暉

比嘉 葵 / 紺谷 海斗

吉濱 来藍

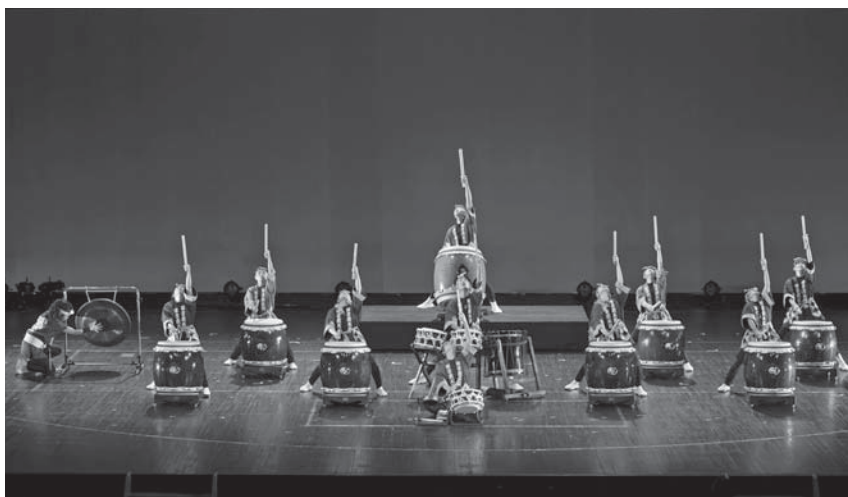
太鼓教室に通っていた小中学生の「もっと太鼓を打ちたい」という願いから毎日太鼓が打てる環境を作るため「創作和太鼓集団打鼓音」渡邊晃伸代表が2009年に同団体のジュニアチームとして設立されました。

自由曲は、活動拠点である横浜市旭区若葉台の夏祭りで行われる花火大会をイメージして作曲。花火を見て心躍る情景、夜空が華やかに彩られる花火を表します。

繊細な締太鼓の音、力強い大太鼓と銅鑼の音色から始まり、祭りへの期待や華やかな花火が打ち上がる様を想起させます。大太鼓ソロ、締太鼓ソロもあり、他パートと繊細に絡み合います。終盤の見どころである締太鼓の細かいリズムから全体への重なりは、連続花火のように激しさを増していき、ラストを飾ります。中央の長胴列の早打ちにもご注目ください。

32 つ たか とら たい こ 津・高虎太鼓

三重県



自由曲

ひゃつ か よう らん 百花嘩乱

代表者: 中田 正己

関口 輝 / 濱田 侑杜

東 剛汰 / 生田鼓太郎

三浦 詩月 / 伊藤 詩桜

池田 拳翔 / 高山 実伶

高山 歩夢 / 照屋 心花

三浦 心寧

1973年に社団法人津青年会議所の記念事業として「津青年会議所 高虎太鼓」が発足し、1979年に市内小学生を募って少年隊を結成。その後、指導者急逝に伴い、少年隊が「津・高虎太鼓」として1984年に設立されました。

自由曲は、津市にある県下初の国宝「専修寺」にインスピレーションを受け、津の街や人々が益々栄え嘩ががきますようにという想いを込め作曲されました。「百花繚乱」が由来の曲名ですが、1つ1つの花が自分らしくかがやけるよう、「嘩」という漢字を採用されています。

大きく3部構成となっており、初めはゆっくりと重厚感を表現し、次のセクションはテンポを急上昇させ、最後は地のリズムを変化させています。曲調や雰囲気を変えているので、セクションごとの変化にご注目ください。

33

とうきょう とりつまつ や こうとうがっこう わ だい こ ぶ
東京都立松が谷高等学校和太鼓部

東京都



自由曲

てんか のぼりゆう

天駆け昇る龍のいななき

代表者: 青田 博美

佐々木 花 / 阿良山 絢人
 遠藤 結香梨 / 西 史奈
 皆川 娃俐 / 池田 苑心
 原島 佑豪 / 山口 千慧
 大八木 晴果 / 西 心愛
 保田 菜々心 / 守部 可憐
 川島 優奈 / 菊地 月乃
 渡邊 ののか

東京都の西側、八王子市と多摩市の境にある全日制普通科の高校で、和太鼓部は現在1、2年生35名で活動されています。

自由曲は、高校生将来や社会への不安を、謎めいた「龍」にたとえて表現しています。高校生が様々な苦悩に向き合いながら成長していく様子を、天へ昇っていく龍に準えて作曲されました。

曲の流れは、大海原に突如嵐が巻き起こる中、龍が姿をみせます。天へ昇っていく龍ですが、稲妻走る深い雲に包まれ、行く手を阻まれてしまいます。果敢に挑み続け再び力強く天を目指しいななき、その声はどこまでも響きわたります。冒頭の荒れ狂う大海原を三拍子、中盤の稲妻を変化させた縁打ちで表現されています。

34

めいとく ぎ じゅくちゅうがく こうとうがっこう たい こしゅうみ こ
明德義塾中学・高等学校 太鼓衆魅鼓

高知県



自由曲

じよん うさ しゅつぱん げいらい

John-宇佐-出帆・鯨来

代表者: 松井 正

木原 栄汰 / 山本 庵仁
 佐藤 美羽 / 高橋 稀帆
 和田 菜々瀬 / 宮田 桜華
 松崎 万穂 / 松井 一音
 SPENCER CHRISTOPHER ANDREW

創立30周年をきっかけに「芸能部和太鼓部門」が発足し、その後、2006年に創部されました。国際コースを持つ学校のため、日本人を始め、留学生や国際家庭の生徒が在籍し、国際色豊かで、多文化が共生する環境です。

自由曲は、2018年10月「全国豊かな海づくり大会～高知家大会」にて上皇上皇后両陛下にご披露するために作曲されました。地元土佐藩出身の漁師「ジョン万次郎」の物語が題材です。

寝静まる町から出帆し航海するが、突然の強風により流され、無人島に漂着。何日も遭難し、絶望した時にアメリカの捕鯨船、ジョンハウランド号を発見します。この展開に準えて、始まりは静かに、だんだん激しく、最後は明るく元気に演奏されます。何役も演じながら打ち方を工夫するところにご注目ください。

35

にい がた ばん だい だい こ こ すけ 新潟万代太鼓 鼓助

新潟県



自由曲

さ ど そろ う 佐渡おけさ揃え打ち

代表者: 阿部 直子

阿部 結花 / 佐藤 柚希
高野 凜 / 古島 玲奈
風間 未波 / 和田 寧音
菱沼日和莉 / 羽賀 葵
鈴木 咲絢 / 阿部 好花
本間 友 / 堀 愛凜
近藤 彩世 / 風間 愛菜
金子 尊

1973年、新潟市立沼垂小学校の部活動としてスタートし、2003年に「新潟万代太鼓 鼓助」と団体名を改め、地域クラブとして活動されています。

自由曲は、新潟の代表民謡「佐渡おけさ」のメロディーに合わせ、佐渡の雪、波、風、山、佐渡ヶ島に思いを馳せて作曲されました。

「佐渡おけさ」の唄を篠笛で奏で、和太鼓へと続きます。途中、新潟に200年続く樽砦の軽快な調べから和太鼓、篠笛、樽の合奏へと展開します。荒波の日本海へと遠く望む佐渡ヶ島の情景を想い、太鼓を打ち鳴らします。速いテンポの課題曲からの地元新潟に思いを馳せた篠笛の演奏、新潟独自の樽砦と和太鼓の調和にご注目ください。

36

わ だい こ しゅう だん おと や 和太鼓集団響屋ジュニア

香川県



自由曲

つき しょう 月の章

代表者: 詫間 浩二

黒木 遥名 / 原田 友葵
近藤 真吹 / 石井 脩都
大平 莉世 / 大石 笑瑚
矢野 礼賀 / 原田 大嗣
西田 幸都

地元の和太鼓経験者を中心として、2000年11月に結成された「和太鼓集団響屋」。その高校生以下のメンバーで組織されたユニットです。

今回演奏する自由曲は、穏やかな瀬戸内の海に嵐を巻き起こす山の神々をモチーフに作曲された楽曲「岳神」の続編です。

嵐が去り、瀬戸内の海が穏やかになった後、四国の山脈から静かに登る満月の様子が表現されています。前段は嵐の去ってゆく中で自然のエネルギーを表し、中盤の静けさを経て、後半では何事もなかったかのように日常が戻り、再び活動して行く人々のエネルギーを描写しています。テーマに基づいたリズムアンサンブルの心地よさ、各々の太鼓の音色を大切にしつつ打ち込む様子をご覧ください。

37 かけ や だい こ 掛合太鼓ジュニア

島根県



自由曲

る てん 流 転

代表者: 堀江 亮次

三島	宇太	白築	柊声
加藤	朱嵐	大田	春希
横山	皓	三島	杏菜
堀江	音羽	武田	風真
高尾	優奈	安食	蒼志
渡部	璃音	中村	楓花
勝部	愛菜	大田	湊
石飛	里花		

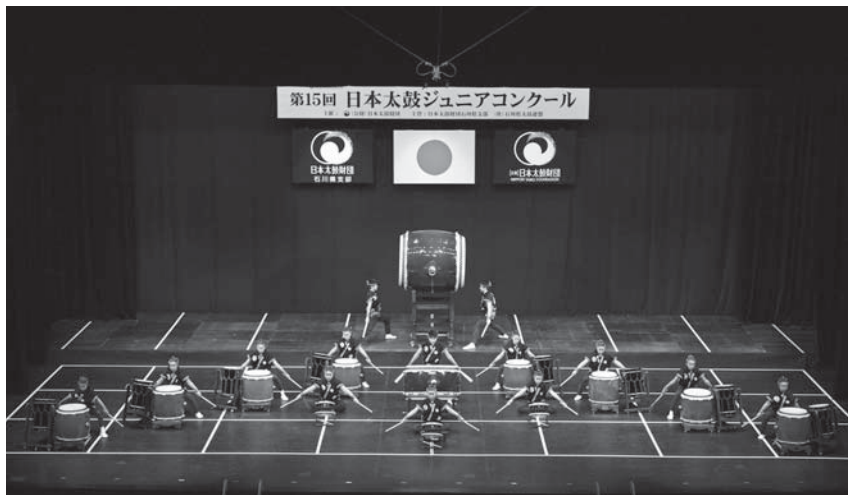
「掛合太鼓」の次代打ち手育成・継承を目的に、中学校の部活動として1982年に設立されました。

自由曲は、四季折々の彩りがある県立自然公園「八重滝」の千姿万態の様子や、落差40メートルある名瀑「龍頭ヶ滝」の勇ましい様子を、季節の移り変わり、水が流れ転じる様子をジュニアのため創作されました。

静かな始まりで八つの滝の重なりから始まり、千姿万態の様子を大・中・小の太鼓で表現しています。また、起承転結に分かれており、前半は楽しさを表し、後半に向かって勢いのある曲の展開になっています。2台の太鼓を用いる場面では、前列の長胴太鼓で、水が流れ転じる様子を表現しています。また、課題曲で用いるフサバチは、舞台を華やかにするだけでなく、その後の自由曲への表現と繋がっています。

38 たい こ れん だい こ おおむら太鼓連くじら太鼓

長崎県



自由曲

シン・クジラ

代表者: 田中 俊己

竹市	奈々	宮田	心美
玉城	綾姫	山口	董
高増	暖人	平片	楽
小西	梨風	十角	優衣
山田	葉月	北原	美来
山口	葉菜		

地元大村市最大の祭り「おおむら夏越まつり」をきっかけに集まった太鼓好きが、祭りだけでなく太鼓を打ちたいとの要望から、おおむら太鼓連が結成されました。約400年前、大村藩で盛んだった捕鯨の網元である「深沢義太夫」は捕鯨で得た財産を全て藩のために使い、自らは質素な生活を送りました。その遺徳を称え、勇壮な鯨取りを太鼓で表現します。

今回演奏する自由曲は、くじら太鼓独自の演奏方法で結成以来約40年のくじら太鼓の集大成として、県大会から全国大会を目標に作曲されました。

静かなスタートから、鯨取りの凄まじさを一気に表現されています。曲の中間に出てくる、三連打をどれだけ合わせるかを中心に練習されたので、ご注目ください。

39

やま と だい こ ほ ぞん かい こ てん どう じ 大和太鼓保存会 鼓天童子

佐賀県



自由曲

たから がわ
宝 川

代表者: 野方 嘉孝

菊池 輝 / 今泉 諒大
藤田 雅章 / 天野 さくら
今泉 宗也 / 天野 なつ
天野 あい / 多田 奏

1989年に大和町街おこし事業の一環として結成されました。

今回演奏する自由曲「宝川」は、地元では川上川とも呼ばれる嘉瀬川をモチーフに作曲されています。古代より人々の生活に欠かせない川であり、命の川であるため宝川と呼ばれ、なくてはならない故郷そのものです。

曲の展開は、山間を静かに流れる川から、平野に暮らす多くの人々の賑わう町に川が流れ、それとともに人々の大切な思いが込められた川を表します。流れる川が岩に当たり飛沫が弾け、大きく波打つ様子も太鼓で表現しています。出だしの部分から中盤に速さが変わり大河を表現するところと、出場メンバー達のしっかりした打ち込みをご覧ください。

40

わ だい こ なぎ 和太鼓 風

千葉県



自由曲

ぎょく と
玉 兎

代表者: 君塚かよ子

内野 祐介 / 板倉 乃愛
鶴岡 海怜 / 天野 波瑠
板倉 莉子 / 笠原 朝日

地元の祭礼などで、太鼓を打つ子ども達の姿で見せるために2001年に設立されました。

自由曲は、月で餅をつく兎が由来で、中国の伝説では薬を作っている姿ともいわれています。民話においても月にまつわる神秘的な要素を象徴しています。曲のイメージは、月の兎が楽しそうに飛び跳ねる様子や、薬を作り人々を救う姿で、明るい未来を願い作曲されています。

アップビートの8分から始まり、ユニゾンや各パートの見せ場が順次登場していきます。その後、兎の宴のシーンとなり、クライマックスではチーム1つになってクレッシェンドからロングの連打で終わります。

見どころは、前後でパートが分かれており中盤に前後のパートのソロと、後ろパート3人の兎の宴、最後の連打です。

41

かわ ごえ だい こ 川越ふじ太鼓

埼玉県



自由曲

いろどり かぜ
彩の風

代表者：高橋 一代

小倉 大輝／中原 董
入倉 葉月／入倉 幸大
都丸 純子／島村 結那
宮田 麗央

和太鼓を幼児教育の一貫として取り組んでいる保育園の職員・卒園児で1993年に創立されました。「心身ともに強くたくましく」「幼児期から本物に触れ、感性を育む」と主宰者の願いから幼児・小学生中心の「和太鼓教室」として活動されています。「基本は幼児から」「異年齢と関わりを持ち、上下関係を学ぶ」「挨拶・返事・整理整頓」も和太鼓を通して身につけることを実践されています。

今回演奏する自由曲「彩の風」は、爽やかな風をイメージして作曲されています。

弱い風もあれば強く激しい風が吹くこともあり、そのことを太鼓で表現されています。練習ではかなり苦戦した締太鼓と長胴太鼓を2～3連打するパートにご注目ください。

42

きょう と こう か ちゅう がく こう とう がっ こう わ だい こ ぶ 京都光華中学高等学校 和太鼓部

京都府



自由曲

かい えん
海焰 -KAIEN-

代表者：田嶋 靖弘

西川 斐子那／小松 莉瑚
梅村 奈穂／國本 葉帆
濱田 真央／森下 真衣
馬場 柚月／吉田 美波
吉川 結／大谷 愛
南谷 萌花／岡本 詩
小村 美心／山本 芽咲

2007年に和太鼓同好会として発足され、校訓の「美しいひととなろう」をもとに「魅せる和太鼓」を理念として活動されています。

自由曲は、大海原を自ら切り開くような挑戦をテーマとした曲です。「焰」という字には、「心の中に燃えたつ情熱」という意味があり、未開の地を自らの手で開拓していく情熱をこの一字に込められています。

力強く海へ漕ぎ出していき、意気揚々と海を進んでいきますが、急に静けさが深まります。大きな荒波に襲われますが、果敢に立ち向かっていき、荒波を乗り越えた喜びと、自らの手で開拓する情熱と挑戦を表現します。京都光華の伝統である横打ちを中心に、各シーンでの感情や情景を表現。また、曲中に転換を行い、両面の横打ちを行うところをご覧ください。

43

ひろしまさんようがくえんさんようこうとうがっこうわ だい こ ぶ さんようだい こ だん
広島山陽学園山陽高等学校和太鼓部山陽太鼓“弾”

広島県



自由曲

ま わ せ
舞和勢!

代表者: 松葉 智也

澤村 麗夏/佐伯 紗桜

佐々木美嘉/栗木原優杏

井町 旭輝/松浦 響

福田好乃里/寺岡 咲絢

蔵重 空/魚谷 明

中本 咲夏/廣田 蒼依

西口虎之介/香原 優心

広島市西区観音新町に所在する広島山陽学園山陽高等学校は、100年以上の歴史を誇る伝統ある学校です。和太鼓部は、1997年に結成され、年間80回の演奏活動をされており、活動エリアは県内に留まらず、海外への遠征も行われております。オリジナル曲を中心に、週末の演奏活動にむけて練習されています。チーム名は「楽しく弾んで叩くように」との願いを込めて命名されました。

今回演奏する自由曲「舞和勢!」は、勢いよく、和やかに、そして舞うかのごとく演奏できるように構成されています。

大太鼓、担ぎ桶太鼓、長胴太鼓など様々なパートが掛け合いながら展開します。楽しく笑顔で弾んで太鼓を叩く姿にご注目ください。

44 え ぞ だい こ
蝦夷太鼓ジュニア

北海道道東



自由曲

だ いん
打韻

代表者: 慶伊 大輔

平山 真/吉岡 栞

米澤 日和/金澤 侑來

村岡 栞那/奥野 彩華

野呂美祐風/石田 暖愛

梅里 遙斗/杉本 明菜

町田 凜

小学生のみで構成されている「寿子ども蝦夷太鼓同好会」のメンバーが中学生、高校生でも和太鼓が続けられるように、「北海道くしろ蝦夷太鼓保存会」の直轄ジュニアチームとして2000年に発足されました。

自由曲は、「港町くしろ」を背景に、年配層から若年層までがともに支え助け合い成長し、そして、時にはぶつかり合いながらも力強く生きていく模様を現しています。

前半は、ややスローペースで拍子木や太鼓の縁を取り入れ幻想感を漂わせています。後半に進むにつれ疾走感が生まれ鉦や銅鑼を織り交ぜながら高揚させ、クライマックスは全身全霊で打ち鳴らします。拍子木の心地よいアクセントやチームワークの良さなどにご注目ください。

45 とどろき だい こ オザスコ轟太鼓

ブラジル



自由曲

き ず き
喜寿生

代表者: 上和田 ファビオ 英樹

後藤 カロリナ 花 土田
明石 アンдре 勝 中村
八巻 エドアルド 賢司 橋本
三神 ジュステネ
横山 ジョヴァナ 歩夢
坂田 イヴァン マテウス デクアドロス
伊藤 ラヴィニア かおり
デカルヴァリオ マルコス ヴィニシウス 栗原
サニオ マリアナ ソラト
藤村 ナタリア 由美
笠 ニコリアミ
サントス ペドロ 秀樹 栗原

2002年にサンパウロ州オザスコ市で大人チームとして始め、翌年に「オザスコ日伯文化体育協会」の太鼓部として子ども達を集め、正式に設立し、「オザスコ轟太鼓」と命名されました。日本人の太鼓指導者から演奏を習い、楽器も頂戴し、ブラジル和太鼓史の初期から日本伝統文化活動に取り組まれています。

自由曲は、ブラジルで2020年のコロナ禍の落胆や困難を乗り越えて、人生を祝福するという意味があります。隔離期間が長く、友人と会えず、太鼓を打つこともできなくなりました。しかし、2022年の練習再開により、人々との再会が勇気や力を与えました。この経験をもとに作曲されています。曲の最初はコロナ禍の悲しみを表し、曲の最後は日常生活が徐々に戻り友人との再会を和太鼓の共演で表します。

46 ぼう りん たい こ だん 柏齡太鼓團

台湾



自由曲

ちよう せん
挑 戦

代表者: 陳力愷

陳乃鴻 / 陳昕蒂
許芷寧 / 郭羽婕
張楚翊 / 顏紹安
陳品蓁 / 唐翊恩
唐翊祐 / 洪子棋
蘇佑翔

幼稚園の子ども達に太鼓を習わせたいとの希望があり、陳豫立團長と宋羅蘭女士の共同で2006年に設立されました。2019年には台湾代表として福島県で開催した第21回日本太鼓ジュニアコンクールにも出場されています。本日は8歳から17歳までのメンバー構成で出場されています。

今回演奏する自由曲のテーマは曲名と同じ「挑戦」です。ジュニアコンクールに優勝できるようにチャレンジ精神を込めて作曲されています。

曲は音の強弱や速さに気を付けながら、思いを込めて表現されます。曲中の掛け声「全力出撃、永不放棄、太鼓霸氣、登峰造極、無懈可擊、衝破天際、柏齡世紀、共創奇蹟」は、いつも全力で最後まであきらめずに太鼓を打ち続けたいという意味です。

特別出演

たちばな たい こ ひびき ざ
橋太鼓「響座」ジュニア

宮崎県



たび だ アッセンブル
旅立ち/assemble

代表者：岩切めぐみ

後藤 瞭来／竹ノ内諭生斗
久米田晃法／杉尾 里菜
杉尾 蒼也／本多 澄海
大村 朋希／井上 煌介
井田 詞也／二見 彩音
二見 莉旺／高妻 心音

宮崎市に拠点を置く橋太鼓「響座」のジュニアチームとして2005年に結成されました。現在は、2012年からソロ活動を開始した岩切響一代表の指導の下、常に進化を求めて和太鼓の音色を追求しています。

1曲目「旅立ち」は第25回日本太鼓ジュニアコンクールの課題曲です。日本太鼓財団 長谷川義会長が新型コロナウイルスに負けずに、新たな時代に向かって進めるよう願って作曲されました。

2曲目「assemble」は岩切代表作曲で、テーマはリズム遊びです。音のダイナミクス（強弱）で展開して、ソロパートを控えチームワークを活かすように作られた曲です。

同チームは2023年3月19日石川県金沢市で開催された「第25回日本太鼓ジュニアコンクール」で、見事5回目の優勝に輝き内閣総理大臣賞を受賞しました。

開催実績

- **自治大臣杯第1回日本太鼓ジュニアコンクール**
1999年3月21日(日) サンアリーナ川北(石川県能美郡) 出場団体34団体(29都道府県)
優勝: 共栄太鼓風雅(石川県)
- **自治大臣杯第2回日本太鼓ジュニアコンクール**
2000年3月19日(日) 松任市総合運動公園文化体育館(石川県松任市) 出場団体34団体(29道府県)
優勝: 天城連峰太鼓(静岡県)
- **総務大臣杯第3回日本太鼓ジュニアコンクール**
2001年3月25日(日) 岡谷市文化会館カノラホール(長野県岡谷市) 出場団体33団体(29都道府県)
優勝: ゆふいん源流少年隊(大分県)
- **総務大臣杯第4回日本太鼓ジュニアコンクール**
2002年3月24日(日) 郡山ユラックス熱海(福島県郡山市) 出場団体38団体(32都道府県)
優勝: 山川ツマベニ少年太鼓(鹿児島県)
- **総務大臣杯・文部科学大臣奨励賞 第5回日本太鼓ジュニアコンクール**
2003年3月22日(日) 山梨県立県民文化ホール(山梨県甲府市) 出場団体38団体(32都道府県)
優勝: 信濃国松川響岳太鼓子供会(長野県)
文部科学大臣奨励賞: ゆふいん源流少年隊(大分県)
- **総務大臣杯・文部科学大臣奨励賞 第6回日本太鼓ジュニアコンクール**
2004年3月21日(日) 羽島市文化センター(岐阜県羽島市) 出場団体38団体(32都道府県)
優勝: 華太鼓かんなの会「ふじ組」(宮崎県)
文部科学大臣奨励賞: 天城連峰太鼓(静岡県)
- **総務大臣杯・文部科学大臣奨励賞 第7回日本太鼓ジュニアコンクール**
2005年3月20日(日) 神奈川県立県民ホール(神奈川県横浜市) 出場団体40団体(33都道府県)
優勝: 手取亢龍若鮎組(石川県)
文部科学大臣奨励賞: おおむら太鼓連くじら太鼓(長崎県)
- **総務大臣杯・文部科学大臣賞 第8回日本太鼓ジュニアコンクール**
2006年3月19日(日) まつもと市民芸術館(長野県松本市) 出場団体41団体(34都道府県)
優勝: 輪島・和太鼓 虎之介(石川県)
文部科学大臣賞: ゆふいん源流少年隊(大分県)
- **総務大臣杯・文部科学大臣賞 第9回日本太鼓ジュニアコンクール**
2007年3月25日(日) 京都会館第一ホール(京都府京都市) 出場団体43団体(32都道府県)
優勝: おおむら太鼓連くじら太鼓(長崎県)
文部科学大臣賞: 岩代國郡山うねめ太鼓保存会 小若組(福島県)
- **総務大臣杯・文部科学大臣賞 第10回日本太鼓ジュニアコンクール**
2008年3月23日(日) 松任総合運動公園体育館(石川県白山市) 出場団体43団体(32都道府県)
優勝: 橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎県)
文部科学大臣賞: 輪島・和太鼓 虎之介(石川県)
- **第11回日本太鼓ジュニアコンクール**
2009年3月22日(日) アクトシティ浜松(静岡県浜松市) 出場団体43団体(32都道府県)
優勝: 太鼓研修センター「響」(宮崎県)
準優勝: 信濃国松川響岳太鼓子供会(長野県)
文部科学大臣賞: 輪島・和太鼓 虎之介(石川県)
- **第12回日本太鼓ジュニアコンクール**
2010年3月21日(日) 大宮ソニックシティ(埼玉県さいたま市) 出場団体47団体(35都道府県)
優勝: 橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎県)
準優勝: 輪島・和太鼓 虎之介(石川県)
文部科学大臣賞: 山川ツマベニ少年太鼓(鹿児島県)
- **第13回日本太鼓ジュニアコンクール**
2011年8月13日(土) 名古屋国際会議場(愛知県名古屋市) 出場団体45団体(34都道府県)
優勝: ZENKAI太鼓「和」(大分県)
準優勝: 手取亢龍若鮎組(石川県)
文部科学大臣賞: 輪島・和太鼓 虎之介(石川県)

■ **第14回日本太鼓ジュニアコンクール**

2012年3月25日(日) ベイシア文化ホール(群馬県前橋市) 出場団体46団体(33都道府県)

優勝: 輪島・和太鼓 虎之介(石川県)

準優勝: 源流はさま太鼓(大分県)

文部科学大臣賞: 熊本市立必由館高等学校 和太鼓部(熊本県)

■ **第15回日本太鼓ジュニアコンクール**

2013年3月24日(日) 金沢歌劇座(石川県金沢市) 出場団体49団体(35都道府県・ブラジル・台湾)

優勝: 手取元龍若鮎組(石川県)

準優勝: 信濃国松川響岳太鼓子供会(長野県)

文部科学大臣賞: 葫蘆墩 Smile 太鼓團(台湾)

■ **第16回日本太鼓ジュニアコンクール**

2014年3月23日(日) 郡山市民文化センター(福島県郡山市) 出場団体53団体(38都道府県・ブラジル・台湾)

優勝: 岩代国郡山うねめ太鼓保存会 小若組(福島県)

準優勝: 天祥太鼓團(台湾)

文部科学大臣賞: 輪島・和太鼓 虎之介(石川県)

■ **第17回日本太鼓ジュニアコンクール**

2015年3月22日(日) ホクト文化ホール(長野県長野市) 出場団体54団体(36都道府県・ブラジル・台湾)

優勝: 橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎県)

準優勝: 信濃国松川響岳太鼓子供会(長野県)

文部科学大臣賞: 葫蘆墩 Smile 太鼓團(台湾)

■ **第18回日本太鼓ジュニアコンクール**

2016年3月20日(日) iichiko総合文化センターグランシアタ(大分県大分市) 出場団体51団体(38都道府県・ブラジル・台湾)

優勝: 手取元龍若鮎組(石川県)

準優勝: 輪島・和太鼓 虎之介(石川県)

文部科学大臣賞: コロニアピニャール飛翔太鼓(ブラジル)

■ **第19回日本太鼓ジュニアコンクール**

2017年3月19日(日) 神戸国際会館こくさいホール(兵庫県神戸市) 出場団体56団体(37都道府県・ブラジル・台湾)

優勝: 和太鼓たぎり(福岡県)

準優勝: 輪島・和太鼓 虎之介(石川県)

文部科学大臣賞: 橘太鼓響座「一」(宮崎県)

■ **第20回日本太鼓ジュニアコンクール**

2018年3月25日(日) 金沢歌劇座(石川県金沢市) 出場団体60団体(40都道府県・ブラジル・台湾)

優勝: 三代目源流少年隊(大分県)

準優勝: 橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎県)

文部科学大臣賞: 太鼓研修センター「響」(宮崎県)

■ **第21回日本太鼓ジュニアコンクール**

2019年3月24日(日) けんしん郡山文化センター(福島県郡山市) 出場団体59団体(40都道府県・ブラジル・台湾)

優勝: 和太鼓たぎり(福岡県)

準優勝: 手取元龍若鮎組(石川県)

文部科学大臣賞: 神洲八幡巫太鼓(福岡県)

■ **第22回日本太鼓ジュニアコンクール *新型コロナウイルスの影響により中止**

■ **第23回日本太鼓ジュニアコンクール *動画審査**

2021年9月18日(土) 笹川記念会館(東京都港区) 出場団体26団体(7ブロック・ブラジル・台湾)

優勝: 橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎県)

準優勝: 三代目源流少年隊(大分県)

文部科学大臣賞: 院内童龍太鼓(大分県)

■ **第24回日本太鼓ジュニアコンクール**

2022年3月20日(日) オーバード・ホール(富山県富山市) 出場団体32団体(29都道府県)

優勝: 和太鼓たぎり(福岡県)

準優勝: 三代目源流(大分県)

文部科学大臣賞: 太鼓研修センター「響」(宮崎県)

■ **第25回日本太鼓ジュニアコンクール**

2023年3月19日(日) 金沢歌劇座(石川県金沢市) 出場団体43団体(37都道府県・台湾)

優勝: 橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎県)

準優勝: 糸島二丈絆太鼓(福岡県)

文部科学大臣賞: 三代目源流(大分県)

上記事業は全て日本財団の助成事業として実施いたしました。

2024年度の主な事業活動予定

■ 日本太鼓ジャンボリー 2024

期 日：2024年6月9日(日)
場 所：文京シビックホール大ホール(東京都文京区)
出演団体：10団体程度

■ 第9回大学太鼓フェスティバル

期 日：2024年8月28日(水)
場 所：タワーホール船堀(東京都江戸川区)
主 催：大学太鼓連盟
出演団体：15団体程度

■ 第26回日本太鼓全国障害者大会

期 日：2024年10月6日(日)
場 所：DMG MORI やまと郡山城ホール(奈良県大和郡山市)
共 催：社会福祉法人富岳会
出場団体：30団体程度

■ 「清流の国ぎふ」文化祭2024

第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭「太鼓の祭典」

期 日：2024年10月20日(日)
場 所：不二羽島文化センター(岐阜県羽島市)
主 催：文化庁、厚生労働省、岐阜県、清流の国ぎふ文化祭2024岐阜県実行委員会、
羽島市、羽島市教育委員会、清流の国ぎふ文化祭2024羽島市実行委員会、
公益財団法人 日本太鼓財団
出演団体：30団体程度

■ 第8回浅草太鼓祭

期 日：調節中
場 所：調節中
主 管：浅草太鼓祭実行委員会、日本太鼓財団東京都支部
出演団体：20団体程度

■ 第21回日本太鼓シニアコンクール

期 日：2024年11月17日(日)
場 所：石川県小松市團十郎芸術劇場うらら(石川県小松市)
主 催：公益財団法人 日本太鼓財団、公益社団法人 石川県太鼓連盟、
一般財団法人 石川県芸術文化協会、北國新聞社
出場団体：30組程度

■ 第27回日本太鼓ジュニアコンクール

期 日：2025年3月23日(日)
場 所：iichiko グランシアタ(大分県大分市)
出場団体：50団体程度

■ 日本太鼓技術普及事業(日本太鼓講習会&資格認定事業)

第72回日本太鼓全国講習会 2024年 調整中
第73回日本太鼓全国講習会 2025年 2月頃 鹿児島県

公益財団法人 日本太鼓財団 概要

<設立日> 1997年11月11日

<公益財団移行日> 2012年4月1日

<資産> 基本財産 3億円

<加盟支部数> 46支部（42都道府県）

<加盟団体数> 約650団体

<会員総数> 約17,500人

<役員>

会長	長谷川 義	全九州太鼓連合名誉最高顧問
理事長	大澤 和彦	常勤
副会長	高野 右吉	高野右吉と秩父社中代表
常務理事	佐々城 清	常勤
理事	浅野 昭利	(一財) 浅野太鼓文化研究所理事長
理事	石井 幹子	(株) 石井幹子デザイン事務所代表取締役社長
理事	中西 由郎	元(一財) 日本モーターボート競走会監事
理事	山内 強嗣	(福) 富岳会理事長

<評議員>

評議員	岩切 邦光	全九州太鼓連合会長
評議員	岡田 知之	元(公社) 日本吹奏楽指導者協会会長
評議員	河合 睦夫	越中いさみ太鼓保存会相談役・富山県太鼓協会名誉会長
評議員	佐藤 淳子	元(一財) ライフ・プランニング・センター理事
評議員	高島 肇久	(学) 津田塾大学理事
評議員	古屋 邦夫	御諏訪太鼓保存会会長・中日本太鼓連合会長
評議員	宮崎 義政	銚子はね太鼓保存会会長・千葉県支部支部長

<監事> 監事 伊藤 勝彦 弁護士 ITN法律事務所

(五十音順・敬称略)



日本太鼓財団
NIPPON TAIKO FOUNDATION

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目11番2号

Tel (03)6205-4377 Fax (03)6205-4378

URL : <https://www.nippon-taiko.or.jp>

E-mail : info@nippon-taiko.or.jp